



# 泉南中だより

【教育目標】共に学び、よく考える人に  
自ら律し、思いやりのある人に  
心身を鍛え、健康な人に

令和3年12月  
杉並区立泉南中学校

杉並区教育ビジョン2022

みんなのしあわせを創る杉並の教育

## 日本語のおもしろさ・難しさ

校長 藤井 和重

「光陰矢のごとし」と言うように、今年も残すところあとわずかとなりました。これから一段と寒さがつり、空気も乾燥してきて風邪が流行る時期となってきます。引き続き新型コロナウイルスへの対策とともに、インフルエンザへの対策につきましても各ご家庭で十分な配慮をお願いします。

さて、10月11日に予定していた合唱コンクールですが、緊急事態宣言延長のために十分な発声練習ができず、延期となってしまいました。本格的な練習は10月1日以降にスタートし、各クラスとも実施に向けて準備を進めています。行事の前の学級や全校朝礼では、ことわざや故事成語、あるいは有名人の語録などを引用して、生徒たちに考えてほしいことや実行してほしいことなどを話すことがあります。例えば、合唱コンクールの前には、「一致団結」を使って互いに協力し合い、励まし合うことの大切さを話します。

日本や中国で使われている「漢字」は、その字一つ一つに意味がある「表意文字」なので、一つの文字でもそれらを組み合わせても意味が通じますし、「同音異義語」と言うような音が同じでも意味が異なる場合もあります。（一方、かな文字はそれ一つでは意味のない「表音文字」です。）したがって、日本語というのは「表意文字」と「表音文字」が組み合わさった、非常に珍しい言語であると、ある本に書かれていました。）

私たちは、こうした漢字やかな文字という日本独特の文化の中で生活しているので、漢字一つの意味や単語の由来などをじっくりと調べてみたり、考えてみたりすることによって、新たな発見があったり知識が増えたりして、正しい日本語への理解も進んでいきます。最近のテレビ番組では、漢字に限らず、「小中学校で学ぶ内容を問題としたバラエティ番組が多くあるな！」と感じます。家族が団らんする機会に、家庭でも日本語のおもしろさ・難しさをぜひ話題にさせていただけたらと思います。

さて、スマートフォンなど、SNS上の文字のやり取りは、お互いの意思伝達中の様子が分からないコミュニケーション手段です。また、やり取りのテンポが速く短文が多いため、自分が伝えたいこととは逆の意味に受け取られてしまうこともあり、日本語の難しさを感じます。

【例】 Aさん「明日、となり町の公園でバスケットボールしようよ！」  
Bさん「私も行きたい！」  
Cさん「何で来るの？」

Cさんは「Bさんは、どういう方法で来るの？」と、交通手段を聞いたかっただけですが、AさんやBさんには「Bさんは来ないで！」という意味に受け取られてしまったケースです。

相手の顔を見ながら話せば、その時の声のテンポや顔の表情などから、その意味を理解できたと思います。しかし、文字だけで「何で来るの？」と返信されたら誤解されることもあります。SNS上では、人によって受け取られ方が違ってしまう場合があることも認識し、メッセージの送信前には、相手の立場になって内容の読み直しをする習慣を付けてください。上手に使えば便利な情報伝達手段のちょっとした落とし穴の紹介でした。

